

提出書類チェックシート

- * 提出書類について欠落がないかチェックの上、本状も提出願います。
本チェックシートは、応募 1 件につき 1 枚のシートでチェックして下さい。

プログラム	重要課題解決型研究等の推進
-------	---------------

課題名	
-----	--

事務書類	
提出書類チェックシート（本用紙） 提案書類受領通知はがき 1 枚（メール送付の場合は不要）	本用紙 切手貼付済み官製葉書

提案書類（日本語で記述）		
表紙	1 頁	（様式任意）
提案書	2 頁	様式 1 - 1
計画構想・概要	1 頁	様式 1 - 2
計画構想・詳細	-	様式 1 - 3
計画内容	-	様式 1 - 4
研究 / 調査体制図	1 頁	様式 1 - 5
具体的な達成目標	1 頁	様式 1 - 6
当該研究成果の反映により期待される社会的効果	1 頁	様式 1 - 7
研究終了後の取組	1 頁	様式 1 - 8
年次計画概要	1 頁	様式 1 - 9
所用経費の見込額	1 頁	様式 1 - 10
研究者データ	-	様式 1 - 11 及び別紙
機関データ	-	様式 1 - 12

全て A4 版とし、正確を期すため、ワープロ等判読しやすいもので作成、記述して下さい。

表紙には、プログラム名、課題名、代表者名・責任 / 中核機関名を記述して下さい。
提案書類には通し番号（表紙から 1 / とし、以降 2 / 、 3 / とする通しページ）を右下に必ず打って下さい。

上記の提案書類については、それぞれ左肩をクリップ止めにして、4 部提出願います。なお、その際に両面コピーは認められません。

様式 1 - 3 から 1 - 4 及び 1 - 11 から 1 - 12 については、特に枚数に制限はありませんが、できるだけ簡潔かつ明瞭に記述して下さい。

(様式1-1)

提案書
(重要課題解決型研究等の推進)

1. 対象課題名

プログラム 分類	(1)重要課題解決型研究 (2)科学技術政策に必要な調査研究	左記のいずれかを 記述	政策 目標分類	(1)重要課題解決型研究について のみ、別添1より略称を一つ記述
課題 分類	別添2より番号及び課題名を一つ記述			

上記に記述された課題に基づき、提案書を分類して審査を行います。

2. 代表者等

責任機関 / 中核機関				
代表者	ふりがな 氏名		生年月日	西暦 19 年 月 日 (歳) 2004年4月1日現在の年齢
	機関・所属部署名			役職名
	ふりがな 所在地	〒 - 県 市 町 - -		
	TEL.			FAX.
	E-mail:			
	所属機関 の産学官	所属機関が「産」「学」「官」のいずれに該当するか記述し てください。(独法、国研=「官」、大学=「学」、民間=「産」)		エフォート(年間全研究時間を100%とした際 の当該研究に割く時間配分率) %
事務連絡 担当者 <small>(当該担当者に審査 結果等全ての連絡を いたします)</small>	ふりがな 担当者名		役職名	
	機関・所属部署名			
	事務 連絡先	〒 - 県 市 町 - -		
	TEL.			FAX.
	E-mail: <small>(当該担当者に審査結果等全 ての連絡をいたします)</small>			

3 提案課題

課題名	課題名は20字以内とし、サブタイトルは付けないこと。また、提案後、課題の変更は基本的に認めない。				
課題の概要（200字以内）					
研究・調査の重要性、緊急性（200字以内）	当該研究・調査の国家的・社会的重要性、緊急性について記述				
具体的な達成目標（200字以内）	研究終了時（3年を越えて実施する場合は研究中間時及び研究終了時）の具体的な達成目標を記述 （1）重要課題解決型研究のみ記述すること				
単独府省では対処が困難であり、総合的な推進体制で実施する必要性（200字以内）	当該研究が単独府省では対処が困難な理由及び総合的な推進体制で実施する必要性（産学官それぞれが果たす役割等）について記述 （1）重要課題解決型研究のみ記述すること				
	番号	研究区分		番号	研究キーワード
主分野		別添3より1つ記述。	研究 キ ー ワ ー ド		別添4より該当するものを5つまで記述。
副分野		別添3より主分野と異なるものを3つまで記述。			

5 業務実施予定期間 財務省の承認日(7月目途)から業務開始の予定
平成16年7月～平成 年 3月まで
なお、業務終了は年度末とする。

6 経費の見込額(概算)
初年度 百万円、総額 百万円

(様式 1 - 2 -)

計画構想・概要（重要課題）(A 4用紙 1枚まで)

課題分類	「別添 2 より番号及び課題名を 1 つ記述	」
課題名	「	」
代表者名	「	」
責任機関名	「	」

研究の目標・概要

1. 研究の目的
・研究の目的、国家的・社会的重要性、緊急性等について、簡潔に記述
2. 具体的な達成目標
・研究終了時（3年を越えて実施する場合は研究中間時及び研究終了時）の具体的な達成目標
3. 内容
・研究の内容について、手法も含め簡潔に記述
4. 実施体制
・責任体制・役割分担、研究機関間の有機的連携を図る手法等を含め、簡潔に記述

諸外国の現状等

1. 現状
・同様の分野における諸外国の研究（個別機関毎は不要）の現状を記述
2. 我が国の水準
・同様の分野における諸外国と我が国との比較を具体的（遅れているのか、進んでいるのか等）に記述

研究進展・成果がもたらす利点等

- ・研究進展による政策目標（国力の充実、経済の活性化、安心・安全で快適な社会の構築のいずれか）の達成への寄与や経済社会への波及効果、研究終了後の実用化等に向けた自立的な取組の方策等について記述

(様式 1 - 3 -)

計画構想・詳細 (重要課題)

課題分類	「別添 2 より番号及び課題名を 1 つ記述	」
課題名	「	」
代表者名	「	」
責任機関名	「	」

以下の項目毎に整理して記述して下さい。

1. 研究の目的

2. 研究の必要性、国家的・社会的重要性、緊急性について
単独府省での対処が困難な理由についても記述
3 年を越えて実施を希望する場合はその必要性を明確に記述

3. 研究計画
研究の内容、年次計画、手法等について具体的に記述

4. 具体的な達成目標
・研究終了時 (3 年間を越えて実施する場合は、研究中間時及び研究終了時) の具体的な達成目標 (ミッションステートメント) について記述

5. 政策目標 (1. 研究基盤の強化による国力の充実、2. 国際競争力の確保・強化による経済の活性化、3. 安心・安全で快適な社会の構築) の達成への寄与、経済社会への波及効果について

6. 提案にいたる準備・調査について

7. 実施体制について
・構築する総合的な推進体制の下で、参画する各機関の役割について明確に記述するとともに、機関間が有機的に連携して実施する方策について具体的に記述
・責任機関及び研究代表者の適性、参画する各機関の当該課題に関連する研究実績について記述

8．研究運営委員会の構成について

- ・実施機関（者）以外に研究運営委員会に参画することが予定される機関（者）について記述（特に関係府省として、参加が予定される府省についても記述）別紙として表などの添付も可

9．研究終了後の実用化等に向けた自立的な取組について

10．国内外の研究状況について

11．生命倫理・安全面への配慮について

ヒトゲノム・遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験など公募要領の「生命倫理・安全対策に関する留意事項」に記述されている研究については、法令、指針等において遵守すべき手続等が定められていることから、これに該当する場合には、生命倫理面・安全面で講じる対策、措置状況（倫理審査委員会や安全委員会の設置・審査等の組織内の体制、関係者の理解・協力を得て行うべき課題についてはその具体的な方策を含む）について記述してください。また、法令、指針等に定める手続以外にも提案機関が必要と認めて講じる生命倫理面・安全面の措置についても記述してください。

また、動物その他を用いる研究が計画されている場合は、各指針等への適合状況、倫理面及び安全対策への配慮に関し、動物等を科学上の利用に供する場合の配慮等を中心にその状況を記述した上で、倫理面・安全対策面等において問題がないと判断した理由について記述して下さい。

(様式 1 - 4)

計画内容

課題分類 「別添 2 より番号及び課題名を 1 つ記述」
課題名 「」
代表者名 「」
(責任 / 中核) 機関名 「」

- ・サブテーマ毎に、責任者(所属機関・氏名・年齢)を明記し、目的、目標、研究の現状、研究(調査研究)の内容(実施期間・手法・担当機関・担当者、期待される具体的な成果等)、研究の必要性等を具体的かつ分かりやすく記述して下さい。
- ・研究の項目毎に担当者(所属機関・氏名・年齢)を明記し、概要を記述して下さい。

(1) に関する研究 (サブテーマ)

サブテーマ責任者(所属機関):
(研究内容記述)

の解明に関する研究 (研究の項目)
研究参画者(所属機関):
(研究内容記述)

の化に関する研究 (研究の項目)
研究参画者(所属機関):
(研究内容記述)

(2) に関する研究 (サブテーマ)

サブテーマ責任者(所属機関):
(研究内容記述)

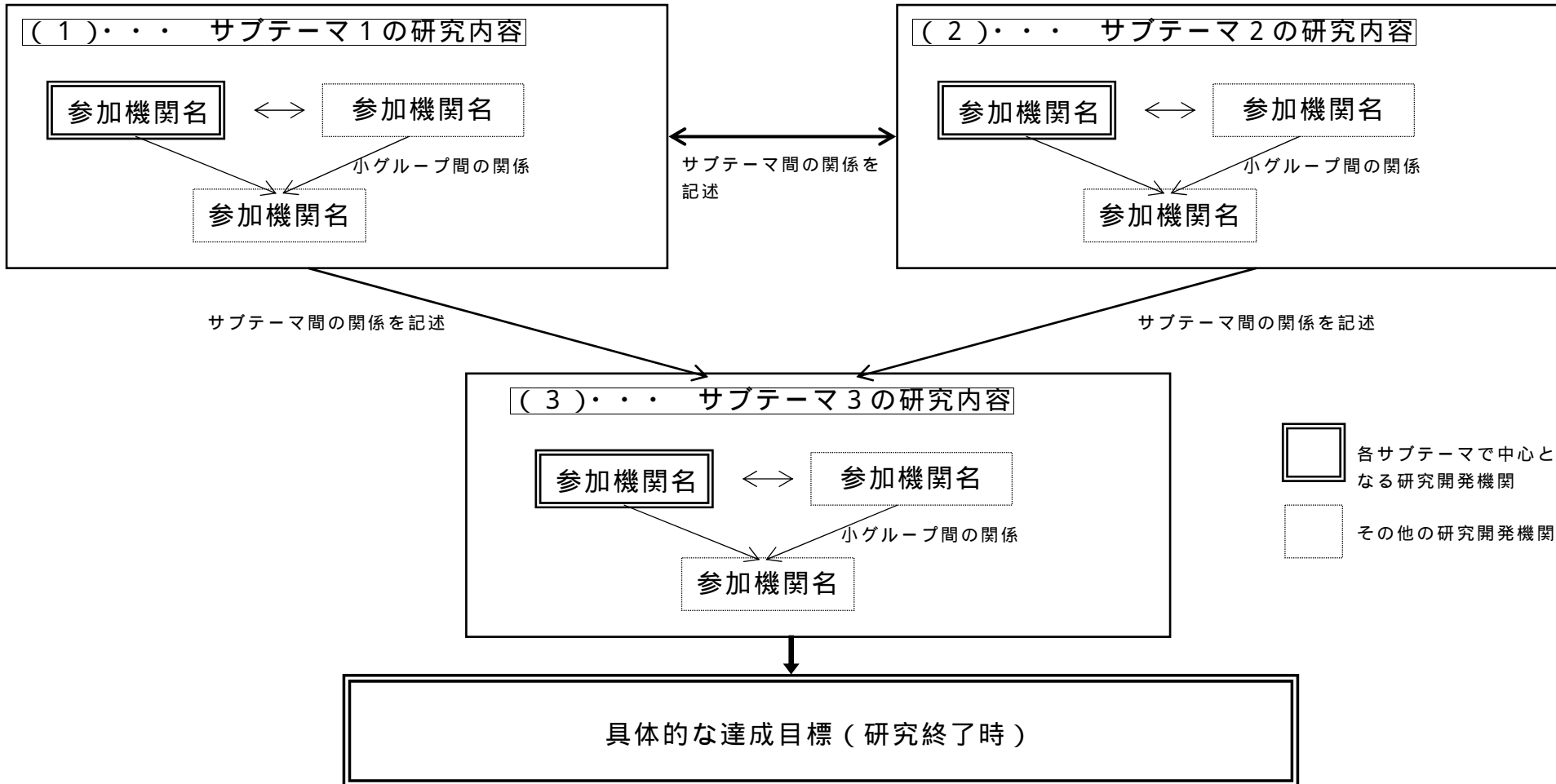
・・・ (研究の項目)

以下同様に記述

(様式 1 - 5 -)

研究体制図 (A 4 用紙 1 枚)

課題分類 「別添 2 より番号及び課題名を 1 つ記述」
課題名 「」
代表者名 「」
責任機関名 「」



(様式 1 - 6)

具体的な達成目標

課題分類	「別添 2 より番号及び課題名を 1 つ記述	」
課題名	「	」
代表者名	「	」
責任機関名	「	」

以下に、当該研究終了時（3 年を越えて実施する場合は研究中間時（3 年目）と研究終了時）に達成すべき具体的な達成目標及び年次計画について詳細に記述して下さい。

1．具体的な達成目標

2．年次計画

- ・研究終了時における具体的な達成目標の達成に向けて、各年次における目標について記述

研究開始後 1 年目の目標

研究開始後 2 年目の目標

研究開始後 3 年目の目標

(様式 1 - 7)

当該研究成果の反映により期待される社会的効果

課題分類	「別添 2 より番号及び課題名を 1 つ記述	」
課題名	「	」
代表者名	「	」
責任機関名	「	」

以下に、当該研究成果の反映により実現が期待される社会的効果について記述して下さい。

(様式 1 - 8)

研究終了後の取組

課題分類	「別添 2 より番号及び課題名を 1 つ記述	」
課題名	「	」
代表者名	「	」
責任機関名	「	」

以下に、当該研究成果に基づく実用化等に向けた研究終了後の取組について、その体制、具体的な方策について記述して下さい。

(様式 1 - 9)

年次計画概要

課題分類 「別添 2 より番号及び課題名を 1 つ記述」
 課題名 「
 代表者名 「
 (責任 / 中核) 機関名 「

研 究 項 目	16年度	17年度	18年度
例) (1)・・・に関する研究 (参画研究機関) 研究所 大学 学部 (株) ...	・・・・の準備 ←—————→ 10 (百万円)	・・・・の ←—————→ 20 (百万円)	開発 30 (百万円) とりまとめ ←—————→ 10 (百万円)
(2)・・・に関する研究 (参画研究機関) 研究所 大学 学部 (株) ...			

注) 研究 / 調査項目毎に所用経費の概算を付して記述して下さい。
 重要課題解決型研究については直接経費 (間接経費を除いた額) について記述

(様式 1 - 10)

所要経費の見込額

課題分類 「別添 2 より番号及び課題名を 1 つ記述」
 課題名 「」
 代表者名 「」
 (責任 / 中核) 機関名 「」

(単位：百万円)

経費の内容	年 度			総 額
	1 6 年 度	1 7 年 度	1 8 年 度	
例) (機 関)	1 2 4	4 7	5 2	2 2 3
備品及び試作品費 (内 容)	8 0 多ターゲット反応 性SPA装置	2 0 可変波長レーザ-	2 5 近接場光顕微 鏡	1 2 5
消耗品 (内 容)	1 5	1 0	1 0	3 5
旅費	1	1	1	3
人件費	0	2 4	2 4	4 8
(機 関)	1 2 4	4 7	5 2	2 2 3
備品及び試作品費 (内 容)	8 0 多ターゲット反応 性SPA装置	2 0 可変波長レーザ-	2 5 近接場光顕微 鏡	1 2 5
消耗品 (内 容)	1 5	1 0	1 0	3 5
旅費	1	1	1	3
人件費	0	2 4	2 4	4 8
(大 学)		
...				
...				
計				

注)所要経費について、参画機関毎に、別添 5 を参考にして見込額を記述すること(予算
 費目毎ではなく、大まかな内訳で可。)

重要課題解決型研究については直接経費(間接経費を除いた額)について記述

(様式 1 - 11)

研究者データ
(研究代表者及び参画する全てのサブテーマ責任者について作成)

ふりがな 氏名		生年月日	西暦 19 年 月 日 (歳) * 2004 年 4 月 1 日現在の年齢	
所属機関	ふりがな 所在地	〒 - 県 市 町 - - Fax. E-mail:		
	機 関 名 所属部署		役 職 名	
研究歴	最終学歴	昭和 年 大学 学部卒業		
	学位	昭和 年 博士号 (学) 取得 (大学)		
	主な職歴 と 研究内容	(記述例) 昭和 年 ~ 年 大学 学部助手 について研究 昭和 年 ~ 年 大学 学部 研究員 に関する研究に従事 昭和 年 ~ 年 大学 学部教授 について研究		
1 年間の全研究時間数		平均 毎月 時間 × ヶ月		
他制度で の助成等 の有無 (申請中 も含む) 各制度の 事業に割 り当てる 研究時間 割合 (%) (年間全仕事時間 を 100%とした 際の当該研究に割 く時間配分率)	本事業	科学技術振興調整費 重要課題解決型研究等の 推進 ・ 研究期間、見込み経費額	%	
	各省の 競争的資金	(科学研究費補助金、厚生科学研究費補助金) ・ 制度名、研究期間、助成金額、課題名 ・ 本事業との仕訳、関連性	%	
	独立行政法人等 による競争的 資金	(学振、NEDO、生研機構、医薬品機構、通 信・放送機構、運輸施設整備支援機構、JST) ・ 制度名、研究期間、助成金額、課題名 ・ 本事業との仕訳、関連性	%	
	公募型の外部 資金	(研究者が公募による競争的な環境から獲得す ることができる外部資金のうち、年間 1,000 万円以上の研究助成を受ける場合について) ・ 制度名、研究期間、助成金額、課題名 ・ 本事業との仕訳、関連性	%	
	その他の外部 資金	(上記の他、外部資金による研究開発等のうち、 年間 1,000 万円以上の事業規模のもの) ・ 制度名、研究期間、研究金額、課題名 ・ 本事業との仕訳、関連性	%	
	経常的研究 等	・ 研究内容	%	
研究成果等に関する情報		必要に応じ、別紙に記述のこと		

* 既に応募している競争的資金制度のみならず、現在、応募しようとしている競争的資金制度について
も、幅広く記述すること。「応募中」、「申請中」の場合にはその旨を記述すること。

(様式 1 - 11・別紙)

研究成果等に関する情報

1. 論文・著書等

- ・提案課題の内容に限り、これまでに発表した論文(査読制度のあるジャーナル掲載に限る)著書(教科書、学会抄録、講演要旨は除く)等を新しいものから順に発表年次をさかのぼって記述して下さい。
- ・主要なものを選定し、1ページ以内に収めて下さい。

論文

(論文名、著者名、巻(号)、投稿誌名、最初の頁、発表年(西暦))

著書

(タイトル、著者、著書名、最初の頁、出版社、出版社の所在都市名、発表年(西暦))

学協会誌等

(タイトル、著者、学協会誌等名、巻(号)、最初と最後の頁、発表年(西暦))

2. 特許等(申請中のものについては内数として括弧内に記述)

国内特許	件(件)	国外特許	件(件)
------	-------	------	-------

- ・主要な特許について、特許名、特許番号、取得または出願年月日を記述して下さい。
(出願・広告等の日付、「発明の名称」、発明者氏名、出願人名、国名、特許等の番号・種類の順)
1. _____, _____, _____, 特願 0000-00

3. 受賞歴、表彰歴

- ・主要なものについて、年月日、受賞名等を記述して下さい。
(受賞者名:「件名」、受賞等年月日等の順)
1. _____:「 _____ », 2000.0.0

(様式 1 - 12)

機関データ

課題分類 「別添 2 より番号及び課題名を 1 つ記述」
課題名 「」
代表者名 「」
(責任 / 中核) 機関名 「」

何れの項目も概略で構いません。(詳細なパンフレット等の添付は不要です)

1. 責任機関または中核機関について

(1) 機関名

(2) 在籍する研究者総数(概数で構いません)

うち、当該提案課題に携わる研究者数(概数で構いません)

研究者総数(人)	
当該提案課題に携わる 研究者数(人)	

(3) 財務の状況

- ・ 予算額の推移(平成 12 ~ 14 年度の総決算額)
- ・ 外部資金(機関全体として公募型資金等により機関外部から獲得した研究開発に係る補助金、委託費等)の総額の推移(平成 12 ~ 14 年度の総決算額ベース)

	平成 1 2 年度	平成 1 3 年度	平成 1 4 年度
総決算額(億円)			
外部資金の獲得総額 (決算ベース、億円)			